

みはら

No.504

平成16年8月1日発行

雄途三原・恵みの大地と^{いのち}生命輝くやさしいまち



なりあいじがらんえず 成相寺伽藍絵図 世界遺産記念特別展に出品

絵図に見入る成相寺保存会のみなさん
7月23日 成相ふれあいセンター
3ページに関連記事

まちのうごき

(平成16年7月1日現在)

| | |
|-----|---------------|
| 世帯数 | 5, 176戸(+3) |
| 人口 | 16, 615人(+12) |
| 男 | 8, 026人(+9) |
| 女 | 8, 589人(+3) |
| 転入 | 33人 |
| 転出 | 26人 |
| 出生 | 9人 |
| 死亡 | 4人 |

()内は対前月比

- ・保健師ノート……………20
- ・募集・お知らせ……………18
- ・図書館・資料館……………17
- ・さんさんネット・子育て……………16
- ・人権学習会……………15
- ・中央公民館……………14
- ・郵便番号変更……………13
- ・情報ガイド……………12
- ・イングランドの丘……………11
- ・ふれあい広場……………10
- ・ふるさとの昔話……………9
- ・合併交流コーナー……………8
- ・夏休みの百円塾……………7
- ・農地の転用……………5
- ・人形まつり……………4
- ・下水道……………3
- ・社会を明るくする運動……………2

今月の主な内容

ページ

(ホームページ) <http://www.town.mihara.hyogo.jp/>

社会を明るくする運動



榎列保育所の年長児も啓発のお手伝い

七月は『社会を明るくする運動』の強化月間でした。七月五日の街頭啓発日には、保護司、更生保護婦人会の方々九十二人が町内の大型量販店、コンビニエンスストアなど十三箇所啓発を行いました。

「子どもたちを犯罪の被害者にしてはなりません。家庭、学校、地域と社会が一体となって見守って子どもたちを育てていきましょう」と呼びかけ、店舗前で啓発チラシなどを手渡ししました。

青少年が健やかに育って



おねがいします

いくためには、大人たちが時にはきびしく、時にはやさしく青少年を見守る「目」をもつことが大切です。

また、明るい社会をつくるためには、多くの人がもつと地域社会をしっかりと見つめる「目」をもつことが大切です。



遺跡全景 工房付近（手前）には杯、壺、硯などの須恵器が発見されています。溝跡（中央）は近くに集落があったことを立証します。

※須恵器…古墳時代中期の末から平安時代の終わりにかけて作られた陶質の土器



窯跡 窯体（深く掘り込まれた部分）の一部が発見されました。（幅1.1m長さ2.8m深さ0.5m）

この調査は、南淡路広域農道「オニオンロード」の建設工事に伴って六月から、大神宮南側斜面とその周辺の水田八百平方メートルを調べていきました。神社の参道付近の斜面には、登り窯の跡（二箇所）と焼き損ねた作品とその灰が捨てられていた「灰原」が発見され、窯から十メートル離れた水田からは、工房跡と考えられる溝や建物跡が見つかりました。

汁谷遺跡で 島内最古の窯跡発見

神代黒道の汁谷遺跡を兵庫県教育委員会埋蔵文化財事務所が発掘調査を行い、七世紀中ごろから後半にかけて築かれた須恵器の窯跡と工房跡が発見され、島内最古の窯跡であることがわかりました。七月三日、午前午後計二回の現地説明会には、地元黒道集落の住民らおよそ九十人が参加しました。

青少年の非行防止 更生にご協力を！

三原町長 中田勝久

まだまだ厳しい暑さが続いています。十分ご自愛下さい。

さて、先月七月は「社会を明るくする運動月間」であり各行事や活動に当り、関係団体の皆さん、住民の皆さんにはご協力有難うございました。

この運動は犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちや、非行に走った少年たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動展開であります。

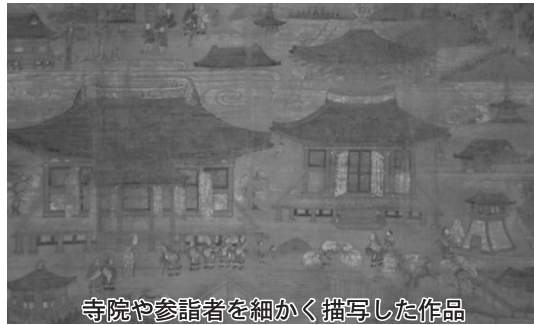
今年の統一標語は「ふれあいと対話が築く明るい社会」であり、重点目標を「地域活動の推進による少年の非行防止と更生の援助」を掲げております。

現在深刻な状況にある少年非行に對して地域の連帯や家族の絆を取り戻し、大人も子供も夢や希望を持って支え合い、安心して暮らせる明るい地域づくりのため、住民の方々の理解と参加をお願いするものです。

さて、話題は一変して、夏バテ予防と疲労回復には十分な栄養と、たっぷりの睡眠をとることが重要と言われていますが、静岡県立大学の名誉教授小国先生が、緑茶のもつパワー

成相寺伽藍絵図

大阪市立美術館などで公開



寺院や参詣者を細かく描写した作品

県の指定重要文化財となっている八木天野馬回の成相寺所蔵の『成相寺伽藍絵図(絹本着色一幅)』が大阪市立美術館などで開かれる特別展に出品されることになり、七月二十三日、主催者による搬送荷造りに合わせ成相寺保存会の会員ら地元関係者に公開されました。

同寺は、仁治四年(一二四二)高野山の実弘上人が寺の争乱に關係して淡路に流されたとき、高野山を手本にして建立した寺であると伝えられています。

絵図は、室町時代後期(一五〇〇〜一五五〇年ごろ)の作、絹の布に岩絵の具で一幅(縦一六八センチ横百三十センチ)に描かれています。左下に南大門、右下に中門、中央には本堂と多宝堂、後方には弘法大師を安置した御影堂が見られます。兵庫県文化財報告書によると、

絵図は単なる寺院絵図ではなく、参拝を目的とした参詣曼荼羅の範ちゅうに属するもので、持ち歩いて布教のための絵説きに使用されたものとされています。色彩が落ち、折り目がほころび傷んでいたため、保存会が県と町に修理を働きかけ平成二年には四百年ぶりに大修理されました。それ以後は収蔵庫に保存され、一般には公開されていませんでした。

展示会は、紀伊山地の霊場と参詣道がユネスコの世界遺産に

特別展 祈りの道 ～吉野・熊野・高野の名宝～

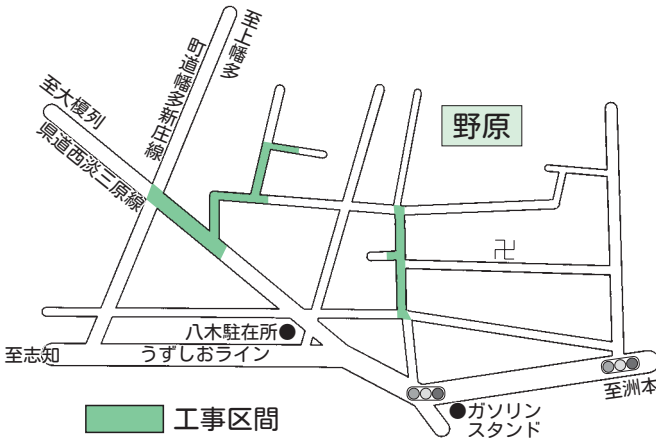
| 開催月日 | 場所 | 問合せ |
|--------------|---------|--------------|
| 8月10日～9月20日 | 大阪市立美術館 | 06 6771 4874 |
| 10月1日～11月3日 | 名古屋市博物館 | 052 853 2655 |
| 11月20日～1月23日 | 世田谷美術館 | 03 3415 6011 |

登録されたことを記念した特別展として開催。国宝・重要文化財および百点を含む二百五十点の名宝が移動展示されます。三原町を築いてきた先祖のあしあとを知り、ふるさとの文化と接する数少ない機会です。訪ねてみてはいかがでしょう。なお、同絵図の模写は、三原町図書館入口のガラスケース内に展示されています。

下水道工事にご協力を

三原町では、汚れた水を浄化し、きれいな水に蘇らせ快適な生活環境を保つため下水道管の整備を広範囲で行っています。

八木野原地区では8月初旬から12月末まで工事が行われます。工事は、朝と夕方の通勤時間帯を避け、生活への影響が少ないようにしながら行っています。現場付近では、看板や交通整理員の誘導に従い通行くださるよう、ご協力をお願いします。



■ 工事区間

榎列地区・市地区のみなさまへ 下水道分担金は8月末までに納入を

下水道事業は、道路や公園などの公共施設と異なり、下水道が整備される地域がその恩恵を受けることになります。下水道の建設にかかる費用の一部を恩恵を受けるみなさんに負担していただくのが受益者分担金です。

◇納める人…榎列地区及び市地区で敷地内に『公共ます』を設置済みの土地所有者又は、居住、営業等をされている方。(地区内の一部の地域)

◇分担金の額…一般住宅(1戸あたり)15万円 事業所、営業所及び共同住宅分はお問い合わせください。

◇納める方法…「公共ます」を設置された土地所有者の方へ、納付書を郵送します。分割納付又は一括納付、何れかの方法で8月31日までに納めてください。

○分割納入…年2回(8月末及び2月末)を3年間、合計6回で納めます。
○一括納入…8月31日までに全額を納めます。分担金の20%に相当する額が報奨金として割引かれます。一般住宅の場合では3万円が割引かれ、12万円納めます。◇納入先…三原町役場出納室又は金融機関(郵便局を除く)

「疲労回復とストレス解消」について次のように言われています。

『現代は、豊かで便利な時代です。しかし、その一方ストレスや疲労でヘトヘトになっている人も多そうです。そんな疲れた体と心を癒しましょう。仕事の合間の一服のお茶は、私達に疲れを忘れさせてくれます。緑茶の成分であるカフェインに、中枢神経を興奮させて精神機能を高め、眠気を取り去り、疲労回復、運動機能を高める作用があるからです。最近緑茶に特有で、緑茶の旨味成分であるテアニンに、精神を落ち着かせる作用があることが分かってきました。テアニンを摂ると、リラックスした時に出る脳波α波の出る回数や出ている時間が長くなるのが明らかにされたのです。お茶を飲むと、ホッとした気分になって心が和むのは、このテアニンの作用だったのです。同じ緑茶にカフェインとテアニンという相反する作用を持つ成分が含まれていることは、興味深いものです。緑茶のカフェインの作用は、テアニンの影響でマイルドになっていると考えられます。カフェインに対する感受性は人によって異なります。緑茶を飲むと眠れないという人もあります。自分の適量を知って「緑茶でリフレッシュとリラックス」はいかがでしょう』

ご参考にしていただければと思います。ご紹介いたしました。

平成16年度 第17回

ふれあい講座生募集

講演予定

■第1回 平成16年9月16日(木)

開場/午後7時00分 開演/午後7時30分

講師/桂 三枝 (落語家)

落語 桂三枝 2席・桂三步 桂三若

■第2回 平成16年10月17日(日)

開場/午後1時30分 開演/午後2時00分

講師/チェリッシュ (歌手)

チェリッシュ オンステージ コンサート

■第3回 平成16年11月14日(日)

開場/午後1時30分 開演/午後2時00分

講師/浜田 幸一 (元衆議院議員)

演題/ハマコーおおいに語る

会場 三原町中央公民館 2階大ホール
TEL42-0538

(講師の希望によりお子様の入場はご遠慮下さい)

申込 8月29日(日)までに講座費を添えて、三原町中央公民館までお申し込み下さい。

定員 先着500名(定員になり次第〆切)

費用 8,000円(3回分)

桂 三枝

桂 三步

桂 三若

浜田 幸一

チェリッシュ

第20回 三原町人形まつり 8月15日(日)

◎昼の部 中央公民館大ホール

★淡路人形浄瑠璃後継者団体発表会 13:00~18:10

- ・市小学校郷土文化部
- ・三原中学校郷土部
- ・三原高等学校郷土部
- ・淡路人形浄瑠璃青年研究会
- ・福井子供会人形浄瑠璃部
- ・南淡中学校郷土芸能部
- ・淡路人形座



後継者団体発表会

★写真撮影会 (リハーサル時)
8月14日 8:00 三原中学校
12:30 南淡中学校

8月15日 10:00 三原高校

★保育所園児ぬり絵展示

淡路人形浄瑠璃資料館

★淡路人形頭作品展・淡路人形絵画展 10:00~17:00

◎夜の部(雨天順延) 三原町健康広場

★ラッキーカード受付 17:30~20:00
スピード抽選会

★時計台前 17:30~
こども金魚すくい
スーパーボールすくいどり
チャリティー バザー&かき氷
NOSAグッズ配布(農業共済組合)



ぬり絵展示(中央公民館)

★舞 台
ガールスカウト鼓笛隊 17:30
保育所園児阿波踊り連 17:50
和太鼓【翔】 18:25
阿波踊り 19:00
ラッキーカード抽選 20:40
三原ふるさと音頭 20:55
花火&レーザーショー 21:10



老人会の阿波踊り

中央商店街

阿波踊り

旧関西電力前→センターパーク→淡路園芸前

17:15

18:15

18:45

夜の部の会場周辺道路は、時間帯により通行止め等の規制があります。新聞折込ちらしに従いご来場ください。

問合せ: 商工観光課 ☎42-0266

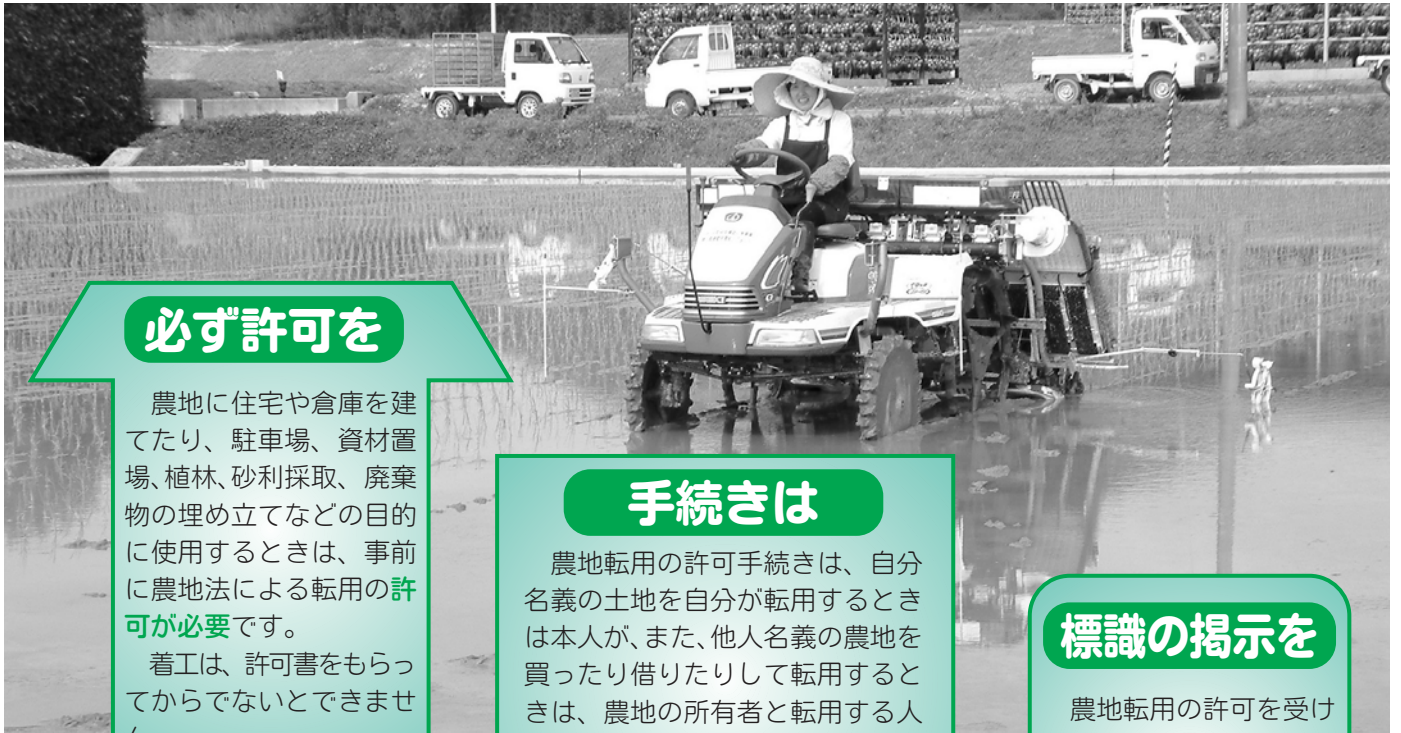
三原町観光写真コンテスト作品募集



◇作品のテーマ/三原町の観光、物産、風物を撮った写真◇応募期間/8月1日~10月29日(郵送可)◇応募規定/四つ切カラー・モノクロを問いません。組、合成写真は不可。未発表作品に限る。応募作品は返却しません。◇賞品/三原町観光協会会長賞(賞金5万円)三原町長賞(賞金3万円)ほか特別賞、入選作品には副賞あり◇応募方法/町内の写真店及び観光協会に備え付けの応募用紙に必要事項等記入し、写真の裏面に貼り応募◇応募・問合せ/〒656-0492三原町市市358-1三原町観光協会事務局 ☎42-0266

なくそう農地の無断転用！

農地の転用には許可が必要



必ず許可を

農地に住宅や倉庫を建てたり、駐車場、資材置場、植林、砂利採取、廃棄物の埋め立てなどの目的に使用するとき、事前に農地法による転用の許可が必要です。

着工は、許可書をもってからでないとできません。

手続きは

農地転用の許可手続きは、自分名義の土地を自分が転用するときは本人が、また、他人名義の農地を買ったり借りたりして転用するときは、農地の所有者と転用する人の双方がすることになっています。

窓口は、町農業委員会です。許可・着工までの日数を考えて、早めに手続きしましょう。

標識の掲示を

農地転用の許可を受けたら、「農地転用許可済標識」を掲示することになっています。

工事が完了するまでの間、目につきやすいところに掲示しましょう。

違反すると

許可を受けずに工事に着手すると、たとえ農地法を知らずにした場合であっても、無断転用になります。

無断転用に対しては厳しい罰則が定められており、悪質な場合には、農地への復元を命じられたり、警察に告発されることもあります。

農地の転用・売買・貸し借りなど農地についての相談は、三原町農業委員会へ ☎42-7577

緊急警報!!

あなたは、ねらわれています!

電話勧誘による健康食品販売

『保健センター』などの公的な機関の様な名を用いて、ご家庭に電話をかけ「アンケートに協力してください」「健診は受けましたか」「血圧はどのくらいでしたか」などと、健診や体調のことを聞きだし、健康食品などの購入を長時間しつこく勧誘する商法が横行しています。「無料サンプルを届けます。詳しい話をしたい」など訪問による販売をせまる場合もあります。

三原町保健センターでは、食品や器具などの販売やあっせんを行っていません。

購入は、販売会社名や商品の種類や内容、効果などを確認し、ご家族や知人と相談した後、冷静になってからでも遅くはありません。巧みな言葉に惑わされず、契約は慎重に。

ご相談は、淡路生活科学センター ☎0799-85-0999へ

契約は理解して慎重に



100円塾

4年～6年
と
保護者

と き／8月8日(日) 13時30分

ところ／中央公民館

対象者／小学校4年～6年生

(親子参加可)

定 員／60人程度

受講料／500円

講師／淡路地区BBS会・

三原町いずみ会

体験サイエンスパーク

11のブースで科学のおもしろさを体験

①キュリーエンジン (20分)



鉄は、ある一定の温度になると磁性を失う。この性質を用いて反復運動するおもちゃを作ります。

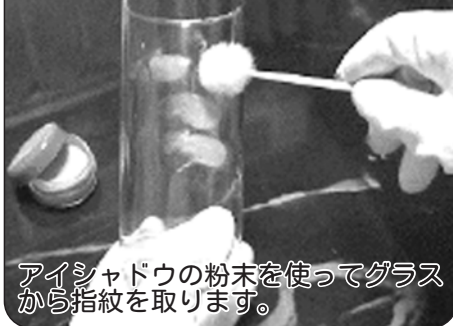
②アルミ玉で電波をキャッチ (10分)



電子ライターをパチンと押すと、電気が流れプロペラが回ります。



③指紋取り実験 (10分)



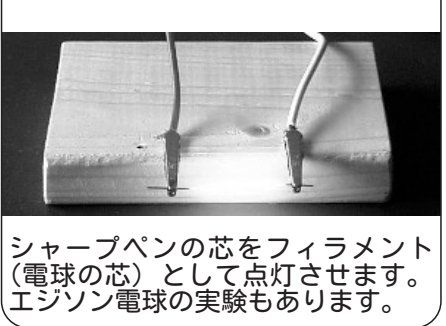
アイシャドウの粉末を使ってガラスから指紋を取ります。

④体験ドライアイス (20分)



ドライアイスの入った容器の上にシャボン玉を浮かべて、低温の性質を学びます。

⑤シャープペン芯電球 (15分)



シャープペンの芯をフィラメント(電球の芯)として点灯させます。エジソン電球の実験もあります。

⑥冷蔵庫なしでアイスクリームづくり(25分)

砂糖 0g 砂糖 10g 砂糖 20g



寒剤(氷+食塩)

水に塩をかけると周囲から熱を奪い水になる。この冷たさを利用してアイスクリームをつくります。

⑦チーズづくり (15分)



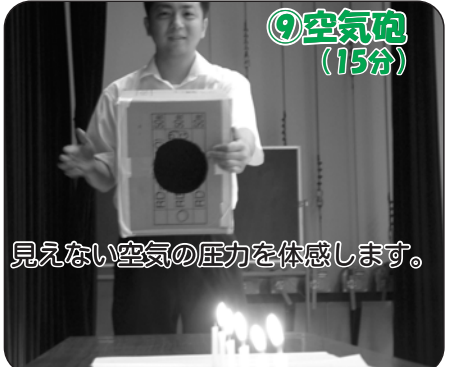
牛乳を加熱し、酢やレモン汁などを加えると沈殿してチーズになる。タンパク質が酸により凝固する過程を体験。

⑧燃えろ! スチールウール (10分)



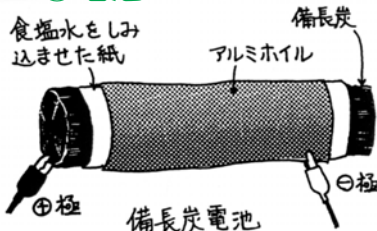
鉄を細くして電気を流すとその抵抗によって非常に高い熱が発生、燃えて光を出します。

⑨空気砲 (15分)



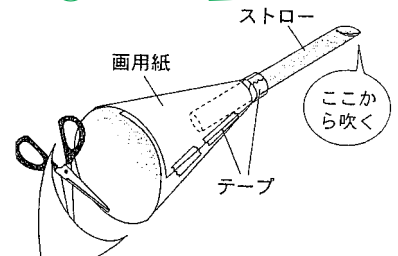
見えない空気の圧力を体感します。

⑩電池づくり (20分)



初めて作られた電池(ボルタ式電池)の原理を学びます。アルミ箔と食塩水、木炭で電池をつくります。

⑪ストロー笛 (15分)



ストローで笛を作ります。管楽器などのリードをストローで再現。

夏休みの ふれあい 100円塾

教育委員会 ☎42-6136

申し込みは、①参加講座名②学校・学年③氏名④住所⑤電話番号を記入し、受講日の3日前までに教育委員会窓口又は、ファックス42-6564で提出。先着順。受講料は参加当日お支払いください。

2年
~4年

はじめての百人一首 おまけ付き

百人一首を知らない子どもたちに楽しく覚え、古典に興味を持つことをねらいとしています。8月から12月までの土曜日に9回開催を予定しています。おまけは、百人一首の後、簡単な工作教室を行ないます。

◇と き／8月7日10時~12時

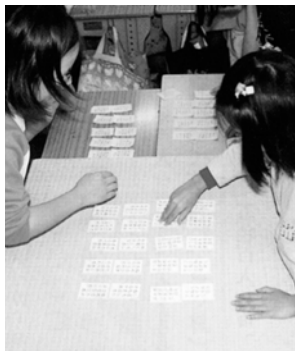
◇ところ／中央公民館

◇対象者／小学校2年生~4年生

◇定員／20人

◇受講料／1回あたり200円

※百人一首：代表的歌人100人の歌一首ずつを集めたもの。藤原定家が小倉山の別荘で撰したと伝える「小倉百人一首」が最も有名で、これを模倣して種々のものが作られた。カルタとして正月の遊びになったのは江戸時代以降。



遊びや体験を通して、子ども同士や親子の交流を深めようと、一昨年の7月から始った「ふれあい100円塾」。学校五日制で休みとなった土曜日に開講し、地域の方がボランティアで講師役を務められています。「聞くより体験」を多く取り入れ、囲碁や料理教室など8種類の講座がおこなわれています。

夏休み中には、多くの子どもたちに「科学のおもしろさ」を体験してもらおうと、新メニューを用意しました。親子で参加できる講座もありますので一緒にのおもしろさを体験し、思い出をつくってみてはいかがでしょうか。参加費は、材料代や保険料の一部に充てられます。

全学年

和紙をつかって

和紙ちぎり絵は、日本の伝統工芸の「手すき和紙」を素材に使い、ちぎる・はぐ・貼るなどの手法で製作する絵画です。

うちわづくり

◇と き／8月5日(木)10時~12時(小学校低学年)

13時30分~15時(小学校高学年)

◇ところ／市公民館2階和室

◇定員／各40名程度

◇受講料／700円

◇内容／手作りのちぎり絵をうちわの骨に貼り付け、オリジナルのうちわをつくりま



和紙ちぎり絵

◇と き／8月24日(火)10時~12時(小学校低学年)

13時30分~15時(小学校高学年)

◇ところ／市公民館2階和室

◇定員／各40名程度

◇受講料／700円

◇内容／色紙に和紙を小さくちぎりのりで貼付け絵を描きます。



全学年・
保護者同伴

星空教室

天体望遠鏡を覗いて星空を観察します。星座や星雲についての理解を深めます。

◇と き／8月20日(金)19時30分(雨天順延)

◇ところ／三原町図書館横駐車場

◇対象者／小学生(要保護者同伴)

◇定員／40名 ◇受講料／100円



4年
~6年

古代体験「ロウ鐸づくり」教室

古代の銅鐸の製造をまねてロウで「ロウ鐸」をつくりま

◇と き／8月7日(土)14時~17時

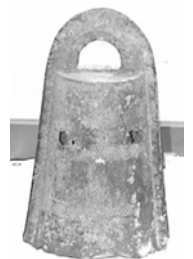
◇ところ／三原町図書館地下駐車場

◇対象者／小学校4年生~6年生

◇定員／30名 ◇受講料／300円

◇内容／粘土に模様をつけ着色して完成させま

※銅鐸：紀元前3世紀から1世紀ころの弥生時代に地鎮祭や豊作祈願の祭事に使用された青銅製の器。釣り鐘を扁平にした形の身と、その両側の帯状の鐸、頭部の半円形の鈕からなる。高さは10~140センチメートル。両面に各種の文様、原始絵画を施す。祭器として用いたと推定され、近畿地方を中心に分布。西淡町でも発見されている。



南あわじ市の市章決定



三原郡四町合併協議会が七月十四日開催され、新市の市章に田村愛子さん（南淡町賀集）の作品を選定しました。

市章は、新市の基本理念「『食』がはぐくむ ふれあい共生の都市」にふさわしい作品を四月一日から四月三十日まで募集。四十五都道府県から千八百九十七

作品の応募があり、市章選定専門委員会（仲野壽志委員長、八人）が二十作品を選考、その中から合併協議会委員による市章小委員会が五作品を選定しました。

この日の合併協議会では、選定小委員会で選ばれた五作品の中から協議会委員二十九人全員が投票を行ない、田村さんの作品が市章に内定しました。

市章は、淡路島を意味する緑色のアルファベットのAを囲むように青色の輪が描かれています。緑色は自然の緑を、青は希望と飛躍を表現しています。

三原郡消防操法大会

三原郡内四町と各町消防団主催による第三十七回三原郡消防操法大会が、六月二十七日三原川河川公園多目的広場で開催されました。

大会には郡内各町の代表として小型動力ポンプの部に一分団、自動車ポンプの部に六分団が出場し『より早く、より確実』な消火活動の基本操作が競われました。三原町からは、小型動力ポンプの部に志知分団、倭文分団、神代第一分団、自動車ポンプの部におのころ分団、神代第二分団、市第一分団が出場し

ました。三原町からは、小型動力ポンプの部に志知分団、倭文分団、神代第一分団、自動車ポンプの部におのころ分団、神代第二分団、市第一分団が出場し



南あわじ市誕生まであと163日

合併交流コーナー 四町のすがたに迫る

テーマ『まちの産業』

●緑町

おいしいヘルシー

温州みかん

緑町の産業として昔からあるのが温州みかん栽培です。島内でも比較的古くから取り組んでおり、生産者が手間暇かけて育てたみかんは味に大きく反映され甘味満点。また、緑町のみかんをもっと多くの人に知ってもらおうと「みかんの木オーナー制度」も実施しており、都市と農村との交流にも一役買っています。



もぎたてみかんを堪能

●西淡町

四百年の歴史に育まれた淡路瓦の産地

淡路瓦の起源は一六二三年、成山城（洲本市由良）の築城時に瓦を焼かせたのが始まりと言われ、産地の中心である津井地区には寛永年間（一六一四〜一六四三）に伝わった



淡路瓦の産地をPRする約7万枚の瓦で出来たモニュメント

○三原町

肥沃な大地の恵みを受けて育つ野菜

三原町では、肥沃な大地と温暖な気象条件と都市近郊という地域的条件を生かして、明治二十年代から玉葱栽培が始まりました。現在では、ほ場整備による農地の集約化や農業機械の導入が進み、減農薬や有機肥料によるレタス、白菜、キャベツなども栽培されています。平成十三年には都市と農村をつなぐ農業の体験・

とされています。

良質な粘土に恵まれていたこともあり、津井・松帆地区で瓦製造業が繁栄し、町の基幹産業に。現在、いぶし瓦では全国一の生産量、年八千五百万枚を誇っています。

とされています。

●南淡町

細く、つるりとおいしい淡路手延べ素麺

夏の食卓に上がる淡路手延べ素麺は、他の素麺と比べ、風味と腰があり一本一本が細く、その分手間と時間が掛かっています。この淡路手延べ素麺の由来は、およそ百七十年前に奈良の三輪地方から福良に伝わり、麵づくりを行う冬の気候に恵まれ、漁師の副業として広がりました。夏バテ気分に最適な冷やし素麺を食べて、この夏を元気に乗り切りましょう。



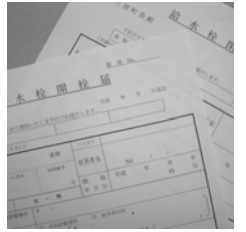
玉葱の収穫作業

交流・学習施設としてイングリンドの丘が開園し、農業の活性化とまちのPRを担っています。



淡路手延べ素麺

水道開閉栓の業務代行サービスがスタート



水道課
☎42-7572

お引越しなどのため、水道を使用開始・中止されるとき、また、使用を再開するとき、長期間使用しないときは、お客様から届出をしていただくことが必要です。

届出の方法は、従来の水道課窓口での申込みに加え、八月二日から電話による申込みも可能となり、ご自宅からでも手続きができるようになります。

三原町水道 開閉栓業務代行 関電サービスお客さま窓口

電話による申込みは、「三原町水道開閉栓業務代行業者 お客様窓口」が受け付けします。開閉栓の作業は、業務委託証明書を携帯した町代行業者がお客様宅にお伺いしますので、届出書に必要事項を記入いただき、開閉栓代行費をお支払いください。

参議院議員選挙の結果

七月十一日午前七時から町内八箇所の投票所で始った参議院議員選挙は、午後八時で投票が終了し、同日午後九時から開票作業が行われました。

三原町では、当日有権者数、一万三千三百三十二人、投票者数八千八百二十六人、投票率は、六六・二パーセントとなり、平成十三年に比べ二・七パーセント上昇しました。

投票者数の内、今回から始った期日前投票者数（病院など不在者投票除く）は、千二十四

関電サービス(株)お客様窓口
☎42-5348 三原町市569-6
(国道28号線青木交差点北西150m)

【受付時間】八時三十分～十七時（土日祝日、年末年始は休業）

※作業は日没までとなります。
※事故防止のため開栓時には立会いをお願いします。

【開閉栓代行費】
一栓につき二千元

提案型見積額の公表

金額はすべて消費税抜き
工事名／三原温泉第二泉源掘削工事

工事場所／神代社家
提案審査日／七月二十日
見積金額／(株)ウエスコ七千七百二十万円
(株)ジオ研究開発八千四百九十九万六千円
(株)ドリコ(株)中由商会九千二百万円
三菱マテリアル資源開発(株)七千八百万円
予定価格／九千九百九十九万円

人事異動

七月一日付けで次のとおり職員の変更を発令しました。() 書きは旧の職名

【課長補佐級】

総務課課長補佐兼財政係長(同課同係長) 土肥一二▽健康福祉課長補佐兼地域福祉係長兼介護保険係長(同課同係長) 原口久司

かたがひの昔話 河童松のはなし

味地草より

むかし、志知松本に志知城がありました。野口孫五郎長宗という人が城主の時でした。

どこの川のほとりでしたか、農耕用の馬をつないでいました。ある時、河童が水から出て、一人の法師に化けて、その馬を引いて水の底にひきずりこもうとしました。手綱をたぐり持ち、馬の肛門から手を入れて胆をひき出そうとしたのです。

馬は驚いて急に駆け出しました。河童は手に長い綱がまとわりつき、引きずられながらはさそうとしましたが、なかなかはずれません。とうとう馬は河童を引きずったまま松本の伊勢明神の境内に来てしまいました。もちろん、お城に近い所ですから行き来するさむらいや商人たちが多く、すばやく河童を捕らえ、大きな松の木の下で縛り上げてしまいました。

人々は河童の罪を責め、とうとう殺して捨ててしまうことになりましたが、河童が手を合わせて一生けんめいあやまりましたので、殺すのはやめることにしました。そこで、この郷の人や牛馬などにいたずらしたり、

害を与えたりしないよう約束して、河童を許してやりました。それから後は、河童の害にあって者はいなくなりました。この松は神社の境内にあり、人々は「河童松」と呼んでいます。

伊勢明神社

松本の伊勢明神は、天正四年(一五七六年)に志知城主野口長宗が建立したといわれています。宝暦五年(一七五五年)のころ社前で祭礼の相撲の会がありました。多くの見物人の中に幼児を連れてくる人がいました。その子どもが誤って拝殿におしっこをしてしまいました。夜明けになって拝殿の柱に火がついて燃えていました。皆びっくりして水をかけようやく火がおさまり、相撲もそうするうちに終わって、その日の昼ごろ柱を見ると、焦げあとがまったくありません。これは、尿のけがれを清めるために神様が火を見せて拝殿を清めなされたということです。



伊勢明神社